

(様式3)

事業所名 グループホームすずらん湯沢

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在センサー使用の同意書を得て、夜間帯の見守りを行っている。その他、やむ負えず身体拘束をしなければならない場合においての、書類が整っていない。	書類の整備と共に、行う場合の手順を職員が理解しておく	厚生労働省のフォーマット等の活用にて書類整備し、様々な事態をふまえて、職員全体でシュミレーションしながら、手順を周知する	3ヶ月
2	25	個人の生活リズムシートの様式が、活用されていない。気が付いたことをすぐ記入できるルール作りはされているが、実行できていない。	日常の中での変化が、逃さず記録され、モニタリングに反映され、さらに介護計画の変更までの流れをつくる	今回評価を受けたことで、やはりそこを目指さないといけないと職員が自覚することができていた。更に定着させていくため、視点を確認しながら、話し合いを重ね工夫していく。(改善の確認は1ヵ月ごと)	6～12ヶ月
3	33	非常災害対策計画の作成、情報収集、協力体制の準備はされているものの、実際の避難手段や経路について具体的な計画がない。	災害時用食料の備蓄、必要物品の準備。最終避難場所の確保	各方面からのアドバイスを活かしながら整備していく。湯沢市で洪水災害時の避難訓練を、大規模に行っている地区があり、見学参加予定(9月頃)。年2回の火災訓練に加え、災害時想定も5月実施予定。同時に協力体制を整える	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。